

北海道の手稲市に隣接する安平町で、63歳(東京ドーム13・5個分)という広大な農地に米、小麦、大豆、大豆、甜菜、南瓜、アスパラガス、トウモロコシ、ジャガイモ、エボウなどを栽培する高林優一さんが、自らの信条をつづる。

希望の泉

心に刻むこの一節

と共に生きる喜びを胸に汗を流しています。

農家に生まれ私は、短

大卒業後、農協パングン

会社など農業以外の道を模

索するも、父の病気の関係

で、後継ぎを決意。しか

今、高林農園では、

アスパラガスの収穫、田

え、そしてトウモロコシな

どの種まきの真っ最中。そ

ら、池田先生の農村部(当

の合間に全国各地からホ

ムペーに寄せられる注文

の対応もしています。

夏にはトウモロコシや南

瓜、秋にはジャガイモや

米、ゴボウの収穫と、雪に

な挑戦をする中、品質が変

わり、味も変わってきた

覆われる冬以外、日々、土

に語る
百界千如は有信界に限り一念三千は信非情
(観心本尊抄、御書239頁)

農業 高林 優一



時、ホムペーでの注文

も増え始めたのです。

日蓮大聖人は「百界千如

は有信界(「衆生」に限

り、一念三千は有情と非情

(草木や国土)の両方に

わたるのである」(観心本

尊抄、御書239頁、通

解)と仰せです。

この御文を学び、情のな

い草木や国土にも仏性があ

ると説く仏法の法理に大感

動。土壌や作物に題目を染

み込ませる思いで真剣に唱



2004年、知事認定の「エコファーマー」(環境に優しい農業を目指す)の農業者として、持続性の高い農業生産方式の計画を立てて取得。44歳。1968年入会。地区部長。北海道・安平町在住。

YUIICHI TAKAHASHI

「土と共に」唱題根本の日々

これからも食べていただく人への思い浮かべながら栽培に励み、大地に生きる素晴らしさを農林光部のメソ

池田先生から「勝利者たれ、大野菜博士との指針を頂いたことは、今も忘れられません。妻や両親と共に本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。創価女子短大に進学した長女をはじめ、3人の子どもも広布後継の道を歩んでいま

2005年(平成17年)、池田先生から「勝利者たれ、大野菜博士との指針を頂いたことは、今も忘れられません。妻や両親と共に本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。創価女子短大に進学した長女をはじめ、3人の子どもも広布後継の道を歩んでいま

農林青年委員会(当時)として、全道の農家や漁師と交流し、さまざまな活躍をしているメソバと出会えたことも大きな財産となりました。

懸命に農業に動んでいた

2013年6月2日